

フレーズ&センテンス ①

私は、中学生の頃から数学が苦手でした。高校生になると、さらによくわからないと感じるようになりました。私にとつての数学は、血の通わない、ただの記号の羅列でした。しかし、この本に出会い、数学にも長い歴史があり、たくさんの人間のドラマがあることを知ったのです。

この本では、「数える」という行為から始まって、現代の数学がいかにして今の学問としての姿を形作ってきたのかを、丁寧に読み解いていきます。そしてその旅は、アラン・チューリングと岡潔という2人の数学者へとたどり着きます。この2人はほぼ同時代に活躍した数学者で、「数学を通して「心」の解明へと向かったこと」が両者の共通点だと著者は言います。「心」という不確かで曖昧なものや数学が、はたしてどう結びつくのかは、本書でぜひじっくりと味わっていただきたい部分です。そして、この「心」というものが一貫して主題になっているからこそ、数学嫌いの私でも、これほど夢中になって読めたことは、間違いありません。(丸山)

WHAT'S NDC ③

NDCとは簡単にいうと、O○○の10ジャンルの分類方法のことをいいます。ここでは図書館の本を分類する際に使われる「日本十進分類法」について説明します。

8門には日本語や外国語など、言語に関する本が該当します。そんな8門から紹介するのは少し特殊な文字、古代エジプトのヒエログリフについて書かれた『ヒエログリフを書こう!』です。よく映画や歴史番組に登場するエジプトの遺跡に書かれているような象形文字のヒエログリフですが、この本では基本的な文字の読む順序に始まり、古代エジプト語のアルファベットや数字、名詞の発音の仕方、書き方などが紹介されています。全ページカラーの可愛いイラストで説明されていて、気楽に読めるのはもちろん、眺めているだけでも楽しめます。皆が知らない言葉で自分の名前が書けるようになったり、有名な遺跡が少し解読できるようになったりと、好奇心をくすぐられる1冊です。(竹原)

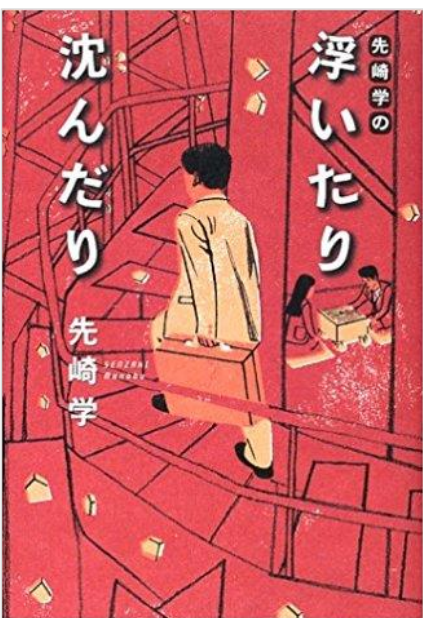


やよい TOPIX 本と出会う。

「数学は身体的な営みであり、歴史を背負った営みである。」

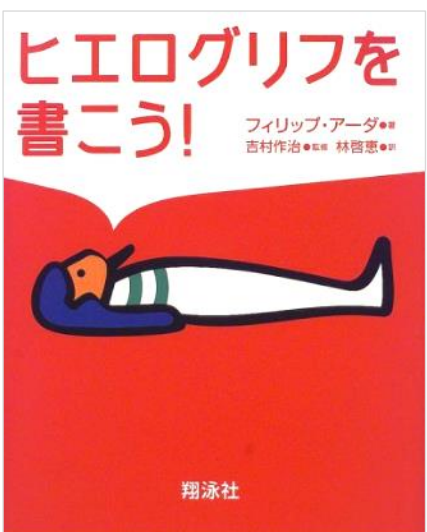


① 数学する身体
森田真生 / 著 新潮社

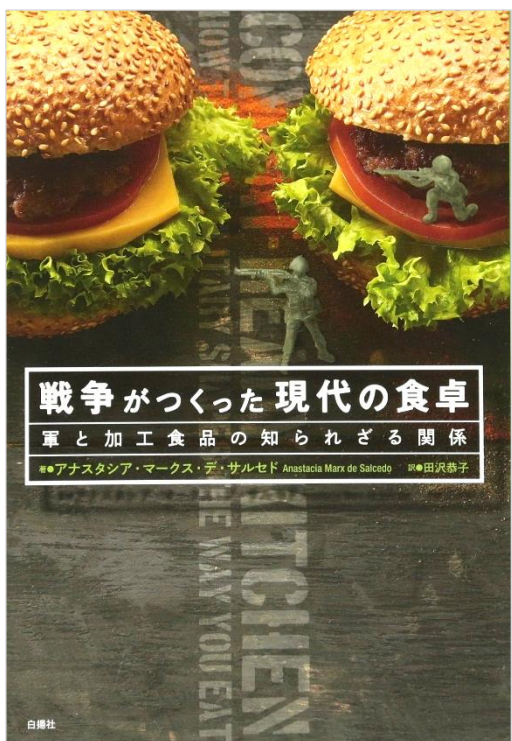


② 先崎学の浮いたり沈んだり
先崎学 / 著 文藝春秋

こんな本もありますよ!
『負けて強くなる』 加藤 一二三 / 著 宝島社
『マンガで覚える 図解将棋の基本』 矢内 理絵子 / 監修 滋慶出版 / つちや書店



③ ヒエログリフを書こう!
フィリップ・アーダ / 著 翔泳社



④ 戦争がつくった現代の食卓
アナスタシア・マークス・デ・サルセド / 著 白揚社

読書の窓 ②

11月17日は「将棋の日」。江戸時代、年に1度將軍の御前で指される「御城将棋」が旧暦11月17日に行われていたことから、1975年に日本将棋連盟が制定しました。毎年色々な都市で、プロ棋士が多数参加する大きなイベントが行われています。

最近、藤井聡太四段の活躍が話題となり、注目されている現在の将棋界。一方で、「難しそう、堅苦しい」といったイメージを持つ方もいるのではないのでしょうか?

そこで紹介するのが、「先ちゃん」こと先崎学九段の著作『先崎学の浮いたり沈んだり』です。棋士は対局が無いシーズンに一体何をしているのか、対局中は何を考えているのか…。テレビでは真剣な眼差しで盤と向かい合っている棋士達の知られざる素顔を、軽妙な文章で垣間見ることができます。

エッセイ集なので棋譜などは無く、知識が無くても楽しめます。読めばきっと、前より将棋に親しみを持てるはず。(松野)

再生館 セレクト ④

軍と加工食品の知られざる関係を探る…。

戦争のための軍事技術から応用された製品はわたしたちの社会に様々な影響を及ぼしています。例えば、今日カーナビやスマホの位置情報に欠かせないGPS機能は軍事衛星技術の活用です。

そしてパン、レトルト食品、プロセスチーズ、成形肉など、元は戦地で満足の食事が摂れない兵士用に開発された手軽で美味しく、しかも保存性に優れた食品加工技術が転用されて、いま私達の食卓を賑わしています。「これもそうなんだ」とその多さに驚かれることでしょう。一方で長期保存のためのプラスチック包装はいま地球上でプラスチックごみ問題を引き起こしています。

戦争のもたらす功罪を食卓から考えてみませんか。(再生館職員)

あたち再生館の図書コーナーに置いておりますので、ぜひどうぞ。